

## **[成果情報名]**新たに選定された優良乳用供卵牛

**[要約]** 2020年度に新たに遺伝的能力評価値の得られた6頭のうち4頭が新たな優良乳用供卵牛として選定され、供卵牛として利用する。

**[担当]** 山梨県畜産酪農技術センター・乳肉用牛科・神藤 学

**[分類]** 技術・普及

---

## **[課題の要請元]**

畜産課

## **[背景・ねらい]**

アメリカから導入した高能力牛および輸入受精卵産子由来の娘牛等について能力検定等を行い、その遺伝的能力評価に基づいて供卵牛の選抜を行い、優良乳用供卵牛選定の基礎資料とする。

## **[成果の内容・特徴]**

1. 2020年度に新たに能力評価された供卵候補牛6頭のうち選定基準（総合指数、産乳成分および耐久成分のいずれかが全国上位25%以内のもの：山梨県受精卵移植推進協議会規定）に合致する4頭を優良乳用供卵牛として選抜し、所定の手続きにより優良乳用供卵牛に選定された（表1、表2）。
2. 選抜した優良乳用供卵牛の特徴（表2、図1）
  - H332は耐久性成分+353（全国上位15%）で、産乳能力は乳成分に優れ、体型資質は体貌と骨格および乳用強健性が優れている。
  - H334は産乳成分+1191（全国上位20%）で、産乳能力は乳量および乳成分に優れ、乳代効果が高い。
  - H336は総合指数+1564（全国上位14%）で、産乳能力は乳量および乳成分に優れ、乳代効果が高い。体型資質は乳用強健性が優れている。
  - H742は耐久性成分が+321（全国上位19%）で、体型資質は、体貌と骨格および乳用強健性、乳器が優れている。

## **[成果の活用上の留意点]**

これらの優良乳用供卵牛から生産される受精卵の採卵予定、交配種雄牛、在庫状況等については常に変動しているため、詳細は畜産酪農技術センター長坂支所まで問い合わせる。

## **[期待される効果]**

1. 選定された4頭を加え、センターで繋養する優良乳用供卵牛は19頭となる。これらの供卵牛それぞれの特性をふまえ、次世代においてより良い改良が期待できる種雄牛を選択することで、改良効果の高い受精卵を生産できる。
2. 生産された遺伝的能力の高い受精卵の活用により、県内酪農家牛群の改良が図られる。

〔具体的データ〕

表1. 選定牛の概要

牛No.	名号	生年月日	分娩月日
H332	ロングヒル スパイラル ジャステイス クリステイアナ ET	H29.1.27	R1.6.10
H334	ロングヒル スーダン ジャニュアリー ジュリアン	H29.7.9	R1.7.8
H336	ロングヒル シュークリン ローソリティー サバラン	H29.8.12	R1.9.5
H742	ノースフォレスト ドロシー プラネット スノウ	H28.11.21	R1.7.23

表2. 選定牛の初産成績の概要と遺伝的能力評価

牛No.	検定成績(305日補正)				体型得点(初産時)				
	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	体貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点
H332	7,884	4.2	3.4	9.0	83	81	82	81	82
H334	8,874	3.9	3.3	9.0	78	78	80	78	78
H336	9,413	4.2	3.4	9.0	79	79	82	80	80
H742	7,911	4.1	3.2	8.7	83	79	82	82	82

牛No.	遺伝的能力評価(2020-08)									
	総合指数	%順位	各成分(%順位)			EBV				乳代効果(円)
			産乳成分	耐久性成分	疾病繁殖成分	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	
H332	+208	(80)	-102 (87)	+353 (15)	-43 (79)	-342	+0.17	+0.08	+0.08	-25,835
H334	+1237	(27)	+1191 (20)	+193 (43)	-147 (99)	+610	+0.10	+0.02	+0.08	+69,095
H336	+1564	(14)	+1516 (9)	+68 (70)	-20 (70)	+725	+0.06	+0.09	+0.16	+82,462
H742	+741	(54)	+391 (65)	+321 (19)	+29 (47)	+329	+0.01	-0.05	-0.01	+33,433

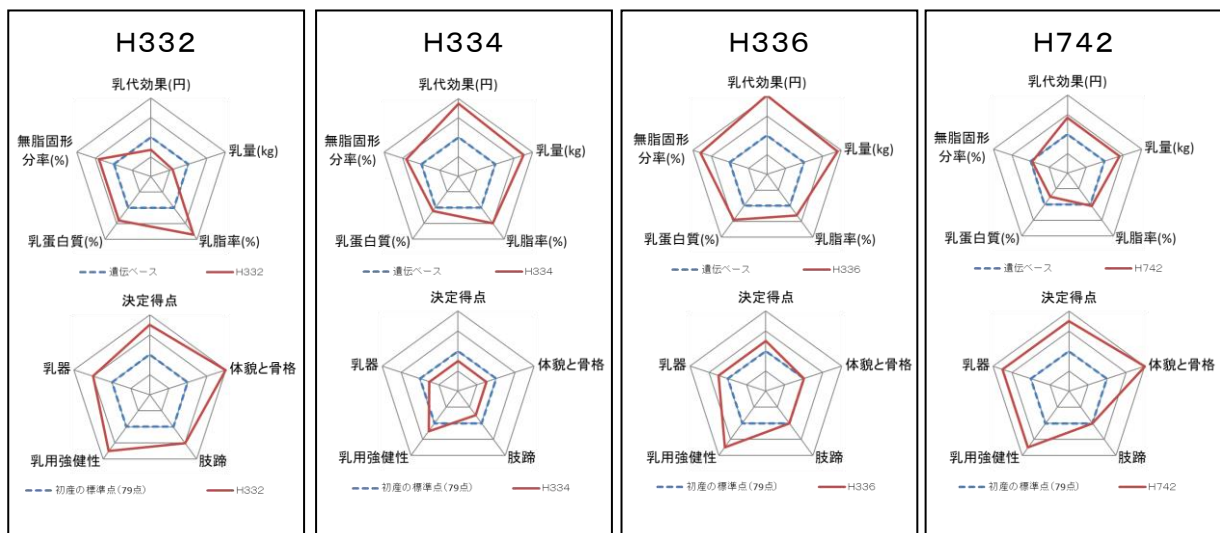


図1. 選定牛の特徴

〔その他〕

研究課題名：優良乳用供卵牛選抜事業

予算区分：県単

研究期間：1993年度～

研究担当者：神藤 学、白井雄介、田村洋次、菊島一人